

### 3 農業産出額

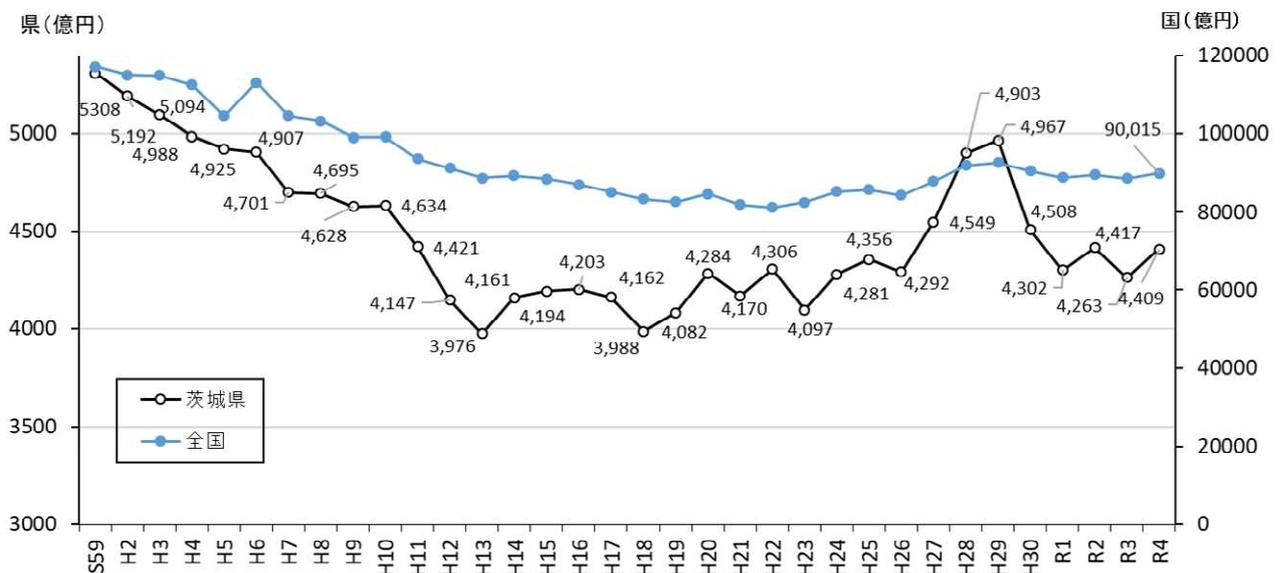
#### (1) 農業産出額

本県の農業産出額は、平成13年の3,976億円を底として以降、増加傾向で推移しており、令和4年は前年比146億円増の4,409億円で、全国順位は前年に引き続き全国第3位となりました。

内訳は園芸（いも類、野菜、果実、花き）が51.6%（2,276億円）、畜産が30.4%、米が13.9%であり、園芸部門の割合が高く、かんしょやメロン等産出額上位の品目が多いことも特徴です。

#### ◇ 農業産出額推移

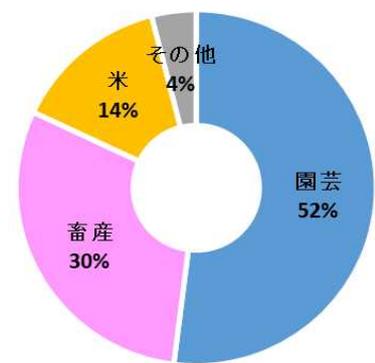
（資料：生産農業所得統計）



#### ◇ 農業産出額と構成比

（資料：生産農業所得統計）

区分		年度		R3		R4	
		産出額 (億円)	構成比	産出額 (億円)	構成比		
合計 (①+②+③)		4,263	100.0	4,409	100.0		
耕種	耕種計 ①	2,822	66.2	2,939	66.7		
	米	596	14.0	611	13.9		
	麦類	8	0.2	6	0.1		
	雑穀・豆類	21	0.5	26	0.6		
	園芸 (いも類+野菜+果実+花き)	2,175	51.0	2,276	51.6		
	いも類	366	8.6	391	8.9		
	野菜	1,530	35.9	1,611	36.5		
	果実	120	2.8	111	2.5		
	花き	159	3.7	163	3.7		
	工芸農作物	7	0.2	4	0.1		
	種苗・苗木類・その他	14	0.3	16	0.4		
畜産	畜産計 ②	1,311	30.8	1,340	30.4		
	肉用牛	174	4.1	188	4.3		
	乳用牛	217	5.1	223	5.1		
	豚	373	8.7	330	7.5		
	鶏	545	12.8	597	13.5		
	その他畜産物	2	0.05	2	0.0		
加工農産物	③	130	3.0	131	3.0		



令和4年 農業産出額内訳

※合計が総数と一致しないのは、四捨五入による。

## ◇ 令和4年品目別産出額順位

(資料：生産農業所得統計)

全国第1位	14品目	鶏卵、かんしょ、ねぎ、かんしょ切干、メロン、ピーマン、れんこん、切り枝、こまつな、みずな、芝、くり、チンゲンサイ、せり
全国第2位	6品目	レタス、はくさい、日本なし、もやし、らっかせい、みつば
全国第3位	9品目	ほうれんそう、にら、スイートコーン、しそ、そば、そらまめ、マッシュルーム、こんにゃくいも、みょうが

## ◇ 品目別農産物産出額の順位と構成比(令和4年)

(単位：億円)

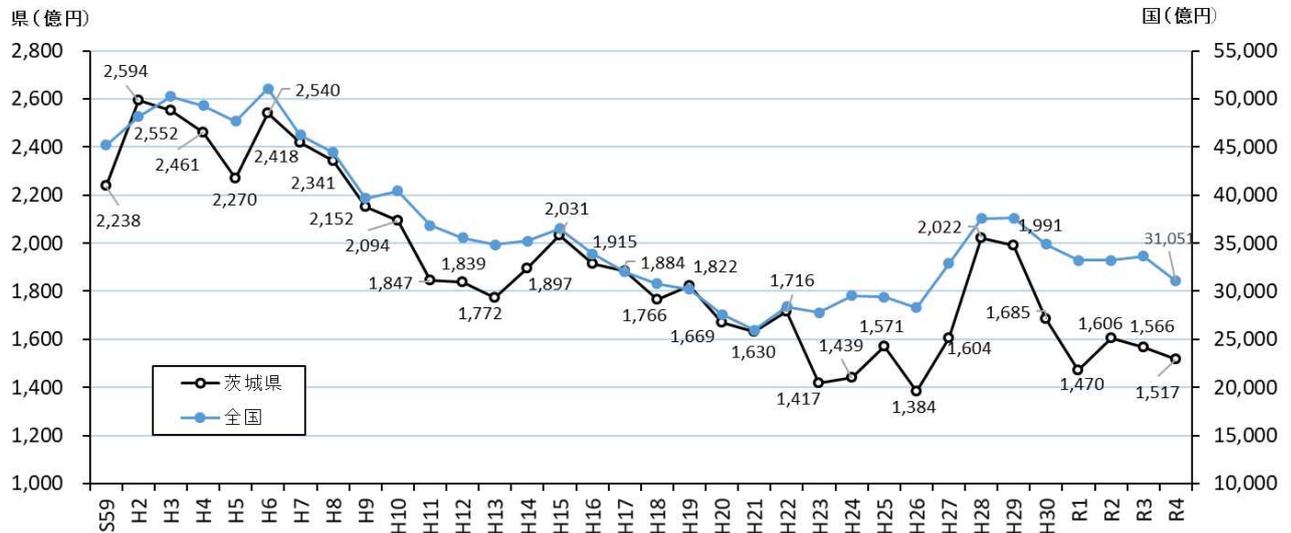
	農産物名	産出額	構成比	全国順位
順位	県計	4,409	100.0%	3
1	米	611	13.9	6
2	鶏卵	548	12.4	1
3	かんしょ	361	8.2	1
4	豚	330	7.5	7
5	生乳	208	4.7	7
6	肉用牛	188	4.3	10
7	ねぎ	134	3.0	1
8	メロン	130	2.9	1
9	かんしょ切干	130	2.9	1
10	トマト	122	2.8	4
11	レタス	121	2.7	2
12	ピーマン	118	2.7	1
13	はくさい	115	2.6	2
14	いちご	101	2.3	7
15	れんこん	81	1.8	1
16	キャベツ	68	1.5	4
17	ほうれんそう	66	1.5	3
18	日本なし	63	1.4	2
19	こまつな	55	1.2	1
20	切り枝	55	1.2	1
21	きゅうり	52	1.2	7
22	きょうな(みずな)	50	1.1	1
23	にら	35	0.8	3
24	すいか	34	0.8	5
25	だいこん	34	0.8	7
26	芝	32	0.7	1
27	ブロイラー	31	0.7	22
28	なす	30	0.7	6
29	ばれいしょ	30	0.7	4
30	にんじん	27	0.6	5

## (2) 生産農業所得

本県の生産農業所得は、平成 26 年の 1,384 億円を底とし、令和 4 年は前年よりも 49 億下げ、1,517 億円となり、全国順位は第 2 位となりました。

### ◇ 生産農業所得推移

(資料：生産農業所得統計)



## (3) 本県の主な農産物の生産動向

### (a) 米

本県の米の作付面積は 59,700ha (令和 5 年) で全国第 6 位、生産量は約 31.6 万 t で全国第 7 位となっています。全国有数の生産量を誇る主力品種の「コシヒカリ」をはじめ、県南地域等の早場米地帯を中心に関東でも早期に収穫・出荷されている「あきたこまち」や、本県育成のオリジナル品種の「ゆめひたち」「ふくまる SL」「一番星」など、様々な特徴を持つ品種が各地域で作付けされています。

### ◇ 米の産出額等

(資料：農林水産統計)

	年度	本県	全国
産出額	R4 (R3)	611 億円 (596 億円)	14,015 億円 (13,751 億円)
作付面積	R5 (R4)	59,700ha (60,000ha)	1,344,000ha (1,355,000ha)
10a 当り収量	R5 (R4)	530 kg (532 kg)	533 kg (536 kg)
作況指数	R5 (R4)	101 (101)	101 (100)



### ◇ 水稻収穫量の推移

(資料：農林水産統計)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国(千t)	8,435	7,986	8,042	7,822	7,780	7,762	7,763	7,563	7,269	7,165
茨城県(千t)	409	355	361	358	358	344	360	345	319	316
全国順位	5	5	7	6	7	7	7	6	6	7

また、本県では、各地域で「おいしさ」や「安全・安心」等にこだわった「地域オリジナル米」が栽培されています。

主な産地	・奥久慈の恵うまかっぺ	・潮来あやめちゃん
	・筑波北条米	・めぐみちゃん
	・うまさ駆け抜ける美浦そだち	・ななかいの里コシヒカリ
	・みずほちゃん	・笠間の粋 かさまのう米

(b) そば

本県で品種育成し、栽培されている常陸秋そばは、全国の有名そば職人から高い評価を得ています。

◇ そば収穫量

(資料：農林水産統計)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
茨城(t)	2,120	1,980	2,090	1,770	2,020	2,010	2,770	2,060	3,000	3,050
全国順位	3	3	2	4	3	6	4	7	3	2

(c) いも類

かんしょの作付面積は7,730ha(令和5年)で全国第2位、産出額は361億円(令和4年)で全国第1位となっています。

また、ほしいもの産出額は130億円(令和4年)で全国第1位となっており、シェアは9割以上を占めています。

品種については、以前の「ベニアズマ」、「タマユタカ(ほしいも用)」に代わり、近年は、生食、ほしいも用ともに「べにはるか」(甘みが強く、肉質が粘質)が主流となっています。



◇ かんしょの産出額等

(資料：農林水産統計 生産農業所得統計 R4データ、作物統計調査 R5データ)

順位	県名	産出額(億円) (R4)	作付面積(ha) (R5)	収穫量(t) (R5)
1	茨城県	361(32%)	7,730(24%)	200,200(28%)
2	千葉県	194(17%)	3,540(11%)	91,300(13%)
3	鹿児島県	164(15%)	9,790(31%)	215,400(30%)
	全 国	1,111	32,000	715,800

ばれいしょの作付面積は1,630ha(令和4年)で、ポテトチップスなどの加工用品種では、「トヨシロ」、「ワセシロ」、青果用では、「とうや」、「メイクイン」、「男爵薯」、「キタアカリ」などの品種が栽培されています。

(d) 野菜

◇ 指定野菜 13 品目 (ばれいしょ除く) の作付面積等

(資料：農林水産省野菜生産出荷統計 R4 年データ)

区分	キャベツ	きゅうり	さといも	だいこん	トマト	なす	にんじん
面積(ha)	2,360	478	248	1,140	879	422	829
全国順位	4	5	13	7	2	3	5
傾向	→	↘	↘	↘	↘	↘	→

区分	ねぎ	はくさい	ピーマン	レタス	たまねぎ	ほうれんそう
面積(ha)	2,040	3,270	539	3,360	174	1,330
全国順位	2	1	1	2	17	4
傾向	↗	→	→	↘	↗	↗

※傾向は、直近の3ヶ年と5年前の3ヶ年の平均面積を比較。

◇ 茨城県の作付面積が全国上位の品目 (13 品目外)

(資料：農林水産省 野菜生産出荷統計 R4 年データ)

区分	れんこん	メロン	みずな	ちんげんさい	みつば	カブラー	ごぼう
面積(ha)	1,730	1,170	996	489	165	116	789
全国順位	1	1	1	1	1	3	2
傾向	↗	↘	↗	→	↘	↘	↘

※傾向は、直近の3ヶ年と5年前の3ヶ年の平均面積を比較。

◇ メロン (資料：農林水産省 生産農業所得統計 R4 年データ、野菜生産出荷統計 R4 年データ)

- ・本県のメロンは産出額、作付面積、収穫量とも全国第1位です。  
県内の主な産地は銚田市、八千代町、茨城町です。

順位	県名	産出額(億円)	作付面積(ha)	収穫量(t)
1	茨城県	130 (20%)	1,170 (20%)	33,700 (24%)
2	熊本県	117 (18%)	832 (14%)	24,400 (17%)
3	北海道	104 (16%)	835 (14%)	19,900 (14%)
	全 国	655	5,790	142,400



◇ ピーマン (資料：農林水産省 生産農業所得統計 R4 年データ、野菜生産出荷統計 R4 年データ)

- ・本県のピーマンは産出額、作付面積、収穫量とも全国第1位です。  
県内では鹿行地域を中心に栽培されています。

順位	県名	産出額(億円)	作付面積(ha)	収穫量(t)
1	茨城県	118 (22%)	539 (17%)	33,300 (22%)
2	宮崎県	110 (20%)	304 (10%)	28,100 (19%)
3	鹿児島県	46 (9%)	141 (4%)	13,300 (9%)
	全 国	538	3,170	150,000



(e) 果実

令和4年の本県樹園地面積は5,870ha(前年比98.3%)、果樹産出額は111億円(同92.5%)で、本県農業産出額全体の約2.5%を占めています。

主な品目には、収穫量が全国第2位の梨、全国第1位の栗(令和4年:3,670t)があり、その他に、りんご、ぶどう、かき、ブルーベリー等が栽培されています。

◇ なし (資料: 農林水産省 生産農業所得統計 R4年データ、果樹生産出荷統計 R4年データ)

- ・本県のなしは、産出額全国第2位、結果樹面積第2位、収穫量第2位です。
- ・主要な品種として、幸水(5割)、豊水(3割)、新高(1割)等が栽培されています。

順位	県名	産出額(億円)	結果樹面積(ha)	収穫量(t)
1	千葉県	65(10%)	1,260(12%)	19,200(10%)
2	茨城県	63(10%)	864(9%)	17,800(9%)
3	栃木県	50(7%)	718(7%)	17,000(9%)
—	全 国	683	10,100	196,500



(f) 花き

本県の花き生産は、小菊、グラジオラス等の切り花の他、若松、千両、柳などの切り枝類など露地栽培が大半を占めています。

本県花きの令和4年の栽培面積は3,709ha(前年比98%)、令和4年の産出額は163億円(同103%)で、本県農業産出額全体の約3.7%を占めています。

◇ 花きの種類別作付面積 (資料: 農林水産省 花き生産出荷統計 R3年データ、花木等生産状況調査 R3年データ)

種 類	作付面積(ha)	主要品目等
切花類(切枝類含む)	539	切枝、小菊、ばら、グラジオラス等
鉢物類	73	シクラメン、洋ラン等
花壇用苗物類	68	パンジー等
芝	3,030	
計	3,710	



(g) 畜産

近年、生産者の高齢化や飼料価格の高騰などから家畜飼養戸数は減少傾向にあります。

令和4年畜産産出額は1,340億円であり、本県の農業産出額の約30.4%を占めており、全国順位では第5位となっています。畜種別では、鶏は597億円で第4位（うち鶏卵は548億円で第1位）、豚は330億円で第7位、生乳は208億円で第7位、肉用牛は188億円で10位であり、全国の中で上位に位置しています。

また、本県を代表する畜産物として、銘柄畜産物の「常陸牛」、「常陸の輝き」、「ローズポーク」、「奥久慈しゃも」が育てられています。

◇ 本県の家畜飼養頭羽数（R5.2.1 現在）の推移

（資料：畜産統計）

	乳用牛 飼養頭数(頭)	全国 順位	肉用牛 飼養頭数(頭)	全国 順位	肉豚 飼養頭数(頭)	全国 順位	採卵鶏 飼養羽数(千羽)	全国 順位	ブロイラー 飼養羽数(千羽)	全国 順位
H24	28,600	8	53,600	16	591,900	6	12,534	1	(1,707)	-
H25	27,900	8	53,900	15	582,900	6	13,151	1	1,717	17
H26	26,700	8	52,800	14	559,500	6	12,648	1	1,487	18
H27	25,500	8	51,000	14	(540,600)	-	(13,295)	-	(1,660)	-
H28	24,200	8	50,200	15	557,700	6	12,840	1	1,613	17
H29	24,100	8	49,700	15	546,300	6	13,433	1	1,552	17
H30	23,800	8	49,700	14	552,000	6	13,879	1	1,233	21
H31	24,500	7	49,200	14	466,400	6	15,167	1	1,135	21
R2	24,300	7	50,200	15	(482,300)	-	(15,863)	-	(1,765)	-
R3	23,800	7	49,900	16	513,400	6	17,756	1	1,327	19
R4	24,000	7	49,400	16	420,700	7	15,142	1	1,435	20
R5	24,400	7	52,200	15	458,400	7	12,652	2	1,265	19

※平成22年及び平成27年及び令和2年の肉豚、採卵鶏、ブロイラーの飼養頭羽数、及び平成23年及び平成24年のブロイラーの飼養羽数は畜産課の調査結果を（ ）で参考値として記載する。

(4) いばらきの野菜・果物・肉の買える店、食べられる店

茨城県産品を取り扱う販売店や料理店の店舗を指定し、イメージアップや販売促進を図っています。

買える店：年間を通して茨城県産農産物を販売している店

食べられる店：茨城県産の食材を使ったメニューを提供する料理店

区分	買える店（うち県外）	食べられる店（うち県外）
県産品販売指定店、提供店	288（-）	211（3）
常陸牛販売指定店・推奨店	278（107）	358（113）※
常陸の輝き販売指定店・飲食指定店	35（3）	47（13） <small>R5.11時点</small>
ローズポーク販売指定店	141（14）	52（1）
奥久慈しゃも料理店・販売店	45（18）	160（54） <small>暫定</small>

※海外店舗を含む

（R6.3 現在）

参考資料：本県オリジナル品種や、ブランド化を目指す品種等

品 種 名	概 要	
水稲 ふくまる SL		<p>茨城県オリジナル水稲品種「ふくまる SL」は、これまでの「ふくまる」にイネ縞葉枯病抵抗性を付与した品種で、R2年に県の奨励品種に採用及び品種登録出願公表しました。大粒で、炊き増えがよく、冷めても粘りがあり食味が低下しにくい品種です。また、高温の年にも白未熟粒の発生が少なく、品質が安定しています。現在は、中食・外食向けに加えて、家庭用の精米にも取り組むなど、販路の拡大を進めています。</p> <p>参考)栽培面積： H30年 695ha、R1年 754ha、R2年 796ha、R3年 975ha、R4年 1,003ha、R5年 1,236ha<sup>※1</sup> ※1：計画面積</p>
常陸大黒		<p>茨城県オリジナル花豆品種「常陸大黒」は、ベニバナインゲンとしては国内初の種皮色が黒一色で、輝くような光沢のある高品質・大粒の品種です。H14年に品種登録しました。現在は県北中山間地域を中心に栽培されています。県内の企業によって菓子類等の加工品も開発されています。</p> <p>参考)栽培面積： H28年 472a、H29年 347a、H30年 230a、R1年 108a、R2年 67a、R3年 80a、R4年 52a、R5年 46a</p>
メロン イバラキング		<p>茨城県オリジナルメロン品種「イバラキング」は、上品な香りと甘さ、なめらかな口あたりとジューシーな果肉が魅力の春メロンで、H22年に品種登録しました。低温でも肥大性が良く、本県産の通常の春メロンよりも1割以上果実が大きくなります。現在はトップブランド化を目指し、認知度の向上と贈答需要の拡大に取り組んでいます。</p> <p>参考)栽培面積<sup>※2</sup>： H30年 26.6ha、R1年 32.9ha、R2年 38.5ha、R3年 44.0ha、R4年 47.0ha、R5年 49.5ha ※2：収穫年の栽培面積</p>
ナシ 恵水		<p>茨城県オリジナル梨品種「恵水」は、9月上旬～下旬に収穫できる中生品種で、H23年に品種登録しました。平均糖度は13%と高く、酸味は少な目で、果実は600g前後の大玉で食べ応えがあります。現在はトップブランド化を目指し、産地とともに、1万果に1果と言われる「幻の恵水」の取組等による認知度向上を図っています。</p> <p>参考)栽培面積(成木換算)： H29年 14.8ha、H30年 18.6ha、R1年 22.5ha、R2年 27.4ha、R3年 33.8ha、R4年 38.6ha、R5年 43.2ha</p>
ぶどう シャインマスカット		<p>農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成されたぶどう「シャインマスカット」は、平成18年3月に品種登録された欧州系品種です。果皮色が輝くような黄緑色で、上品なマスカット香があり、肉質硬く、食味も良好で皮ごと食べられます。茨城県では、独自に高品質栽培技術を開発し、普及を図っています。</p> <p>参考)栽培面積： H29年 6.4ha、H30年 11.4ha、R1年 11.4ha、R2年 11.6ha、R3年 11.5ha、R4年 14.0ha、R5年 15.3ha</p>
イチゴ いばらキッス		<p>茨城県オリジナルイチゴ品種「いばらキッス」は、H24年に品種登録しました。果実の形状、甘さと酸味のバランスが良く食味が優れます。生産技術の普及、生産の拡大、品種の認知度向上を進めています。</p> <p>参考)栽培面積： H30-31年 1,040a、R1-2年 1,095a、R2-3年 1,120a、R3-4年 1,193a、R4-R5年 1,239a、R5-R6年 1,263a</p>
花のオリジナル品種		<p>県オリジナル品種として、小菊 15 品種、グラジオラス 4 品種、カーネーション 3 品種、千両 2 品種を育成、品種登録を行い、花きの生産振興を図っています。</p> <p>小菊「常陸サマーライト」(写真左) 栽培面積： R4年 41a、グラジオラス「常陸はなよめ」(写真右) 栽培面積： R4年 65a</p>